

成果を定量的・定性的に評価し、投資・中止の意思決定を行う

DX推進の 成果可視化セミナー

DX推進プロジェクトを進めていく中で、下記のような課題が聞かれます。

- ・「DX推進者として、どのような視点で組織戦略との合致を確認したらいいのか」
- ・「プロジェクト計画時、プロジェクトのアウトプット(成果)を顧客の企業価値に結び付けるには、具体的にどうすればいいのか」
- ・「DX推進の活動(プロジェクト、サービス、ソリューション)の成功とはどのように定義、測定されるのか？」
- ・「組織戦略目標との合致を確認し、具体的にどのような方法でプロジェクトの選定／中止の意思決定を行えばいいのか」
- ・「DX推進を行う上で、何を押さえておくべきか」

本セミナーでは、上記の課題を解決するため、まず、DX推進で成果を定量的・定性的に評価する意義を理解していただきます。そして、演習を通して、測定手法や優先順位付けを身につけていただき、DXへの投資ならびにプロジェクト中止の意思決定ができることを目指します。

ねらい

デジタルトランスフォーメーション(DX)を確実にするためには、これらのKPIを定期的に測定し、戦略の調整や改善を行う必要があります。定量化(KPIマネジメント)は、DXの成果を最大化し、持続可能な変革を実現する鍵となります。

ただし、但し過度に「合理的な説明可能性」を求めすぎると、意思決定における直感や真善美はほとんど発揮されず、結果的に意思決定の品質を毀損する恐れがあります。デジタルビジネスは意思決定は「理性」から「理性と感性」の融合が大切であることを学んで頂きます。

特長

- 1 ビジネス戦略とDX戦略のリンケージの重要性を理解し、実現する具体的な手法を習得する。
- 2 投資をベースに、DXの成功とはどのように測定するのか、具体的方法を習得する。
- 3 DX活動の成果を超えて、市場・社会への変化の影響(インパクト)の測定方法を習得する。
- 4 プロジェクトの優先順位付け、プロジェクト撤退の客観的な説明方法を学ぶ。
- 5 プロジェクトの上存在する上位フレームワークを理解し経営が要求する全体観を身につける。

プログラム 9:30～17:30 <昼食時間 12:00～13:00>

1. DX推進で成果をどう評価するか

- (1) KKD(感経度)の限界
- (2) データドリブンに基づく意思決定の重要性
- (3) 社会的インパクトを追求する

2. 投資要求に合った価値連鎖の説明

- (1) 投資要求に対する説明に関する現状認識
- (2) 企業におけるインパクト測定の狙い
- (3) インパクト創造サイクル
- (4) インパクト測定計画作成手順
- (5) インパクト測定計画 事例紹介

演習①

市場・社会へのインパクトを認識した上で、デジタルプロジェクトの価値連鎖を説明する

3. インパクト測定計画を用いて、価値創出を説明する

- (1) 主要なインパクトを特定する
- (2) 一次インパクトを洗い出す
- (3) 二次インパクトを洗い出す
- (4) ベネフィットマップを完成させる
- (5) 測定データ収集計画を作成する
- (6) 経営者に、価値提案を説明する

4. 選択と集中、投資価値の最適化方法を体得する

- (1) ポートフォリオの基本的な考え方
- (2) 様々な優先順位付け方法の紹介

演習②

プロジェクトの優先順位付けの根拠を論理的に説明する

演習③

プロジェクト撤退の理由をステークホルダーに論理的に説明する

※プログラムは変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

開催日時

2024年 7月 3日 水

2024年 12月 19日 木

講師(敬称略)

中谷 英雄

株式会社ピーエム・アライメント 取締役
ビジネスコンサルティング部 部長

日本ユニシスにて、JAL、ANAのエアライン担当エンジニアとして座席予約システムのアプリケーション、基盤システムの企画・開発・保守を担う。三井住友信託銀行にて、大規模プロジェクトのプロジェクトマネジャー、合併対応のPMO等の役割を担う。現在、(株)ピーエムアライメントにて、イノベーションをテーマに、大企業のイノベーションマネジメント、デザイン経営への変革支援、教育サービス支援を行う。

参加料(税込)

●法人会員…62,700円/1名

●会員外…74,800円/1名

